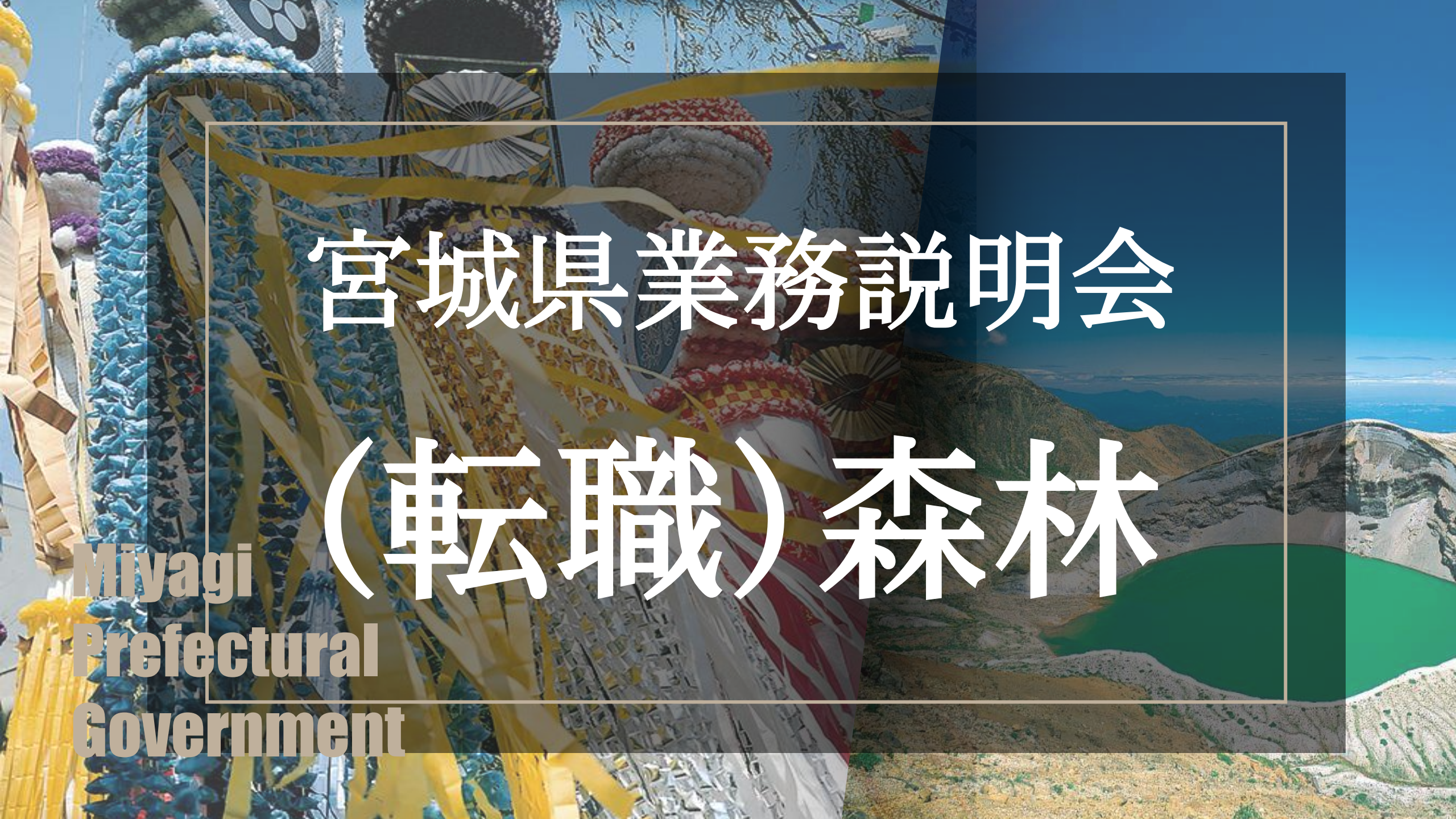




宮城県業務説明会 (転職) 森林

Miyagi
Prefectural
Government

森林職の仕事

県産材の利用拡大など林業・木材産業の振興、森林の整備・保全に関する業務や、木材や特用林産物、森林管理技術、優良種苗の安定確保など試験研究のほか、環境緑化や野生生物の保護管理などの業務を行います。

配属先

本庁（林業振興課、森林整備課、自然保護課）
地方機関（各地方振興事務所及び地域事務所の林業振興部、
林業技術総合センター）

自己紹介 宮城県出身

H23.3月 県外大学(造園)卒業

H23.4月～ 東京都や仙台市の公益財団法人で勤務

H28.4月～ 北部地方振興事務所栗原地域事務所
林業振興部 森林管理班 (保安林担当)

R1.4月～ 水産林政部 森林整備課
保安林班 (保安林担当)

R4.4月～ 環境生活部 環境対策課
環境影響評価班 (環境影響評価担当)

R7.4月～ 水産林政部 林業振興課
森林計画班 (森林経営管理制度担当)

志望動機

なぜ公務員だった？

大学生だった当初は大学で学んだことを活かせる仕事をした
たいと考えて就職先を決めましたが、公務員になった同級生
たちが生き生きとして見えたことから、公務員に憧れをもち、
転職を決めました。

なんで宮城県庁を選んだ？

家が転勤族で県内の様々な地域に住んだことがある
ため、他県ではなく、一つの市町村でもなく、「宮城
県」で働きたいという思いがあったからです。

担当した仕事

○水産林政部森林整備課 保安林班

担当業務：保安林の指定・解除

○環境生活部環境対策課 環境影響評価班

担当業務：環境影響評価手続き

○水産林政部林業振興課 森林計画班

担当業務：森林経営管理制度・森林環境譲与税
特用林産物の放射能対策（R7のみ）

大変だったこと

【菌床きのこのガイドラインの作成】

- ・国により特用林産物の生産に係る補助要件が見直され、県のガイドラインに基づいた放射能対策に係る栽培管理が必要となった。
- ・令和7年度当初は、当県にガイドラインは存在しなかった。
- ・初めて担当する業務であったため、きのこ栽培及び放射能に関する知識がなく、初めは何から手をつければ良いのか分からず、戸惑った。
- ・他県の担当者に相談したり、先輩方の力をたくさんお借りして、何とか完成させた。

入庁前のイメージとギャップ

私がギャップを感じたのは、想像以上に書類仕事ばかり求められることです。森林職で入庁しましたので、森に出かける仕事が多いかと思いきや、県庁勤務になってからは、ほとんど出かけません。

前職ではフィールドで働く時間のほうが長かったのですが、宮城県に入庁してからは、圧倒的に席についている時間のほうが長いです。

前職とココが違った！ 前職の経験が役に立った！



森歩きの知識が役に立ちました。

前職では森の中で仕事をするが多かったのですが、様々な人と森を歩いていろんなことを教わりました。その時得た知識が、県の森林職となり、森を歩く時に役立っています。触るだけでかぶれてしまう植物や虫を見つけたら避けるなど、身を守ることに繋がっています。

私の公務員試験対策

一般教養試験対策としては、本屋で購入した
公務員試験の対策本に取り組みました。

森林職の専門試験対策としては、森林・林業に
ついて学べる実務書と林野庁が毎年発行している
「林業白書（受験年に発行されたもの）」の2冊
だけをじっくりと読みました。

みなさんへのメッセージ

ぜひ、皆さんには森林職を目指していただきたいです。私のように大学などで林学を学んでいなくても働いている人たちがいますので、専門知識がないからといってあまり不安にならなくても大丈夫です。

働きながら学べますので、森林職への少しの興味とやる気があれば大丈夫だと思います。